

令和6年シラス曳網調査結果 (第4報)

令和6年7月9日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

7月4日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)、
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

37-50N 線上 141-15E(水深 49m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

20.8°C~23.3°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 222~2,266 尾 (合計 5,216 尾)

灘側 2 定点について、今回のシラス採捕数(222~2,266 尾、合計 2,488 尾)は前回調査時(6月26日、81~308尾、合計 389尾)と比較し、増加しました。

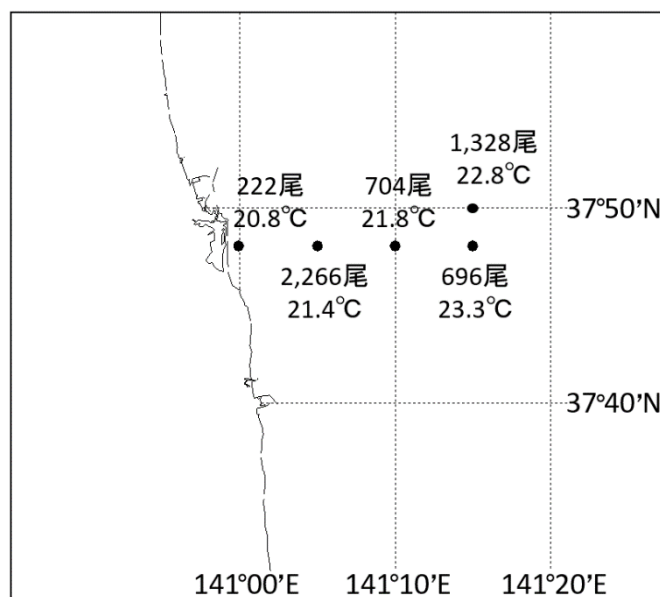


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：5.3～25.0mm

全長15mm前後の群のシラスが採集されました。

141-00Eでは10mm前後の群、その他の定点では15mm前後の群のシラスが多く採集されました。

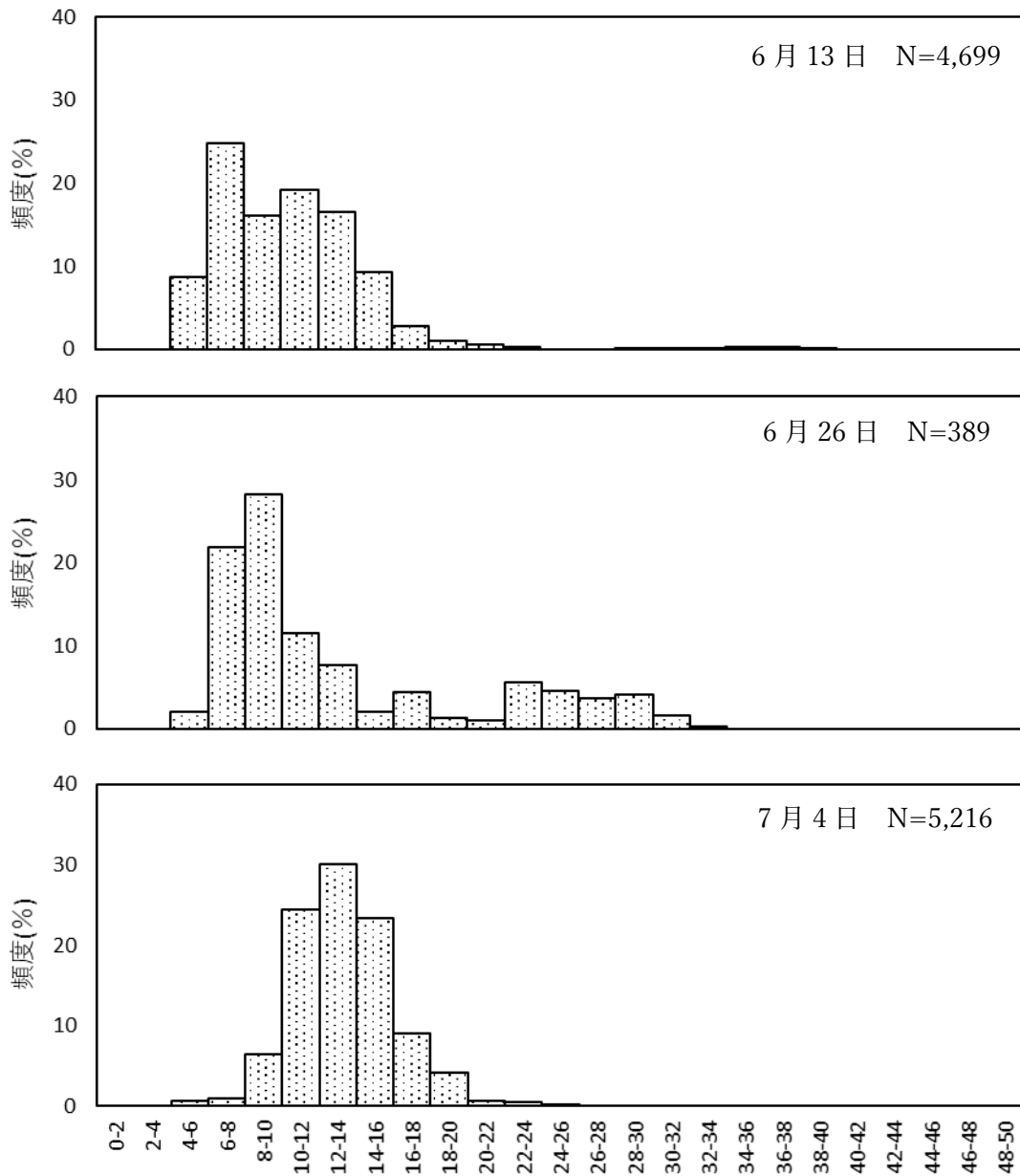


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和6年7月のシラス採捕数は平成18年以降で5番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年度はいわき地区では6月3日より、相双地区では6月10日よりシラス漁が開始されました。

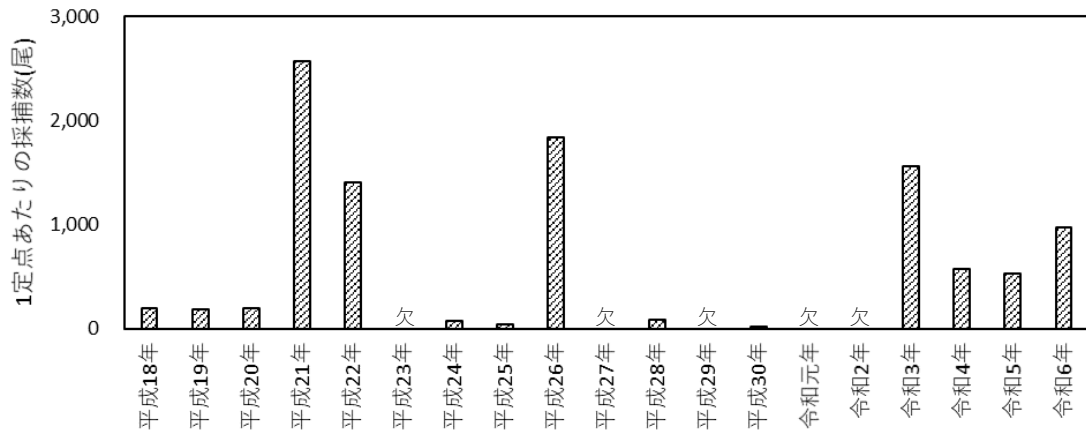


図3 相馬海域における7月の1地点あたりの採捕数

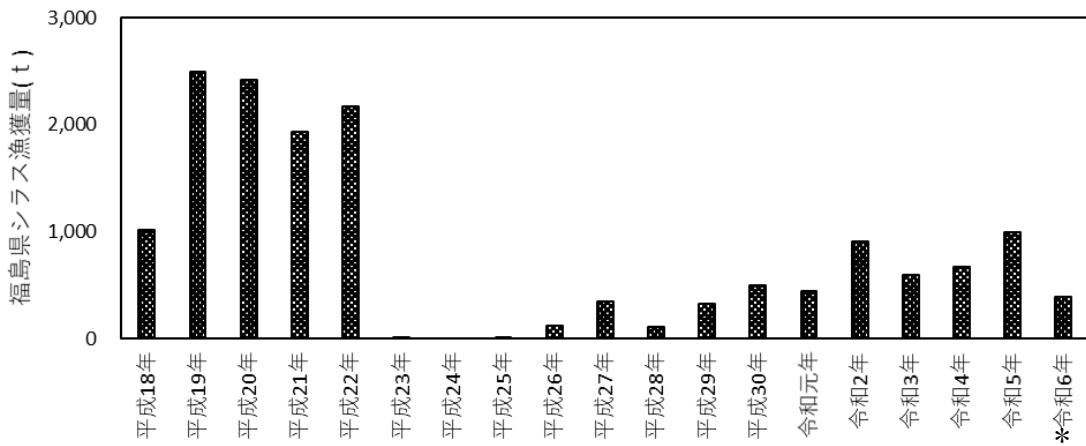


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*7月5日までの速報値